

総務文教常任委員会

平成27年9月18日(金)午前10時～
第3委員会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 請願審査

(1) 受理番号4 「安全保障関連法制」(案)に関する請願

4 議案審査

生涯学習部

(1) 第1号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)
<説明～質疑>

総務部

(1) 第1号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)
<説明～質疑>

会計管理室

(1) 第1号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)
<説明～質疑>

教育委員会

(1) 第1号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)
<説明～質疑>
(2) 第48号議案 亀岡市立川東小学校・高田中学校改築工事(建築)(期)
請負契約の締結について
<説明～質疑>

5 討論～採決

6 陳情・要望について

(１) 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

7 その他

- ・ 議会だよりの掲載内容について
- ・ 議会報告会の意見対応について
- ・ 次回の日程等について

総務文教常任委員会資料

亀岡市情報化推進計画の策定

平成27年9月

【総務部総務課】

亀岡市情報化推進計画の策定

平成27年 9月
総務部 総務課

第4次亀岡市総合計画において、「今後の市政運営における情報化の役割や方向性を明らかにし、全庁的、総合的に情報通信技術の利活用を図る計画」を策定することとしています。

■高度な情報通信技術の提供

情報通信技術 (ICT) ^(※1) は急速な発展を続けており、インターネットの普及やクラウドサービスなどの技術革新により、社会に深く浸透してきています。高度なICTの有効活用により、市民や来訪者の利便性を向上させ、効率的・効果的な行政運営を図り、誰もがICTの恩恵を享受できる情報化を推進します。

■事業概要

1) 現状把握

- ・市民及び職員の情報化に関するニーズ・課題等を把握するため、平成27年9月に市民及び職員向けアンケートを実施します。
- ・クラウド^(※2)・スマートデバイス^(※3)・オープンデータ^(※4)・ソーシャルネットワーキングサービス^(※5)等のほか、考えられる新技術について分析・評価を行い、亀岡市における利活用の可能性を検討します。

2) 課題の整理、基本方針及び目標等の設定

- ・国や府などの施策、先進事例・関連技術動向などを調査し、本市を取り巻く情勢・環境に関して、情報政策分野に限定せず、政治・経済・社会などあらゆる方向から調査・分析を行うとともに課題を整理します。
- ・現状把握の内容を勘案し、基本方針を検討するとともに、亀岡市の現状や特性を踏まえた目標等の設定を行います。

3) 情報化推進委員会及び検討会

- ・4回の検討会を開催し、各アンケートや独立系外部事業者の支援を受けて収集した情報化に関する資料などから、現状の把握や分析により抽出された課題を整理し、基本方針等を定め、計画素案及び計画案を情報化推進委員会に提案します。
- ・情報化推進委員会は3回の開催を予定し、検討会から提案された計画素案や、計画案の内容を確認し、市民に公開する最終判断を行います。

4) パブリックコメントの実施

- ・検討会及び情報化推進委員会よりまとめられた計画素案について、市民意見を得るために、平成27年12月から1月にかけてパブリックコメントを実施します。

5) 情報化推進計画の公表

- ・パブリックコメントに寄せられた市民意見を反映した「亀岡市情報化推進計画」を平成28年3月までに公表します。

■今後の予定

- ・第1回 情報化推進計画策定検討会の開催
平成27年10月1日 午後1時30分から

(裏面:有)

■情報化推進計画策定作業スケジュール案

島田市情報化推進計画策定		平成27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年	1月	2月	3月	
員信 会報 ・化 推 進 計 画 策 定 会 委	情報化推進委員会の開催					◎					◎			◎		
	情報化推進計画策定検討会の開催								○	○	○			○		
	素案審議・意見聴取										▽					
	計画案報告・審議													▽		
	計画準備															
策 定 業 務 内 容	現状把握及び分析・検討															
	課題の整理															
	情報化目標及び基本方針の検討															
	情報化推進のための施策の検討															
	情報化推進計画素案の策定															
	パブリックコメント実施															
	パブリックコメント意見反映・内容修正															
	情報化推進計画の策定															

■用語の解説

(*1) ICT：

Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、一般的となったITの概念をさらに一歩進め、情報通信技術という意味合いから、最近では国際的にもICTの表現が多く利用されてきています。

(*2) クラウド：

インターネット技術を利用したサービスなどが、ネットワーク上のサーバ群(クラウド(雲))にあり、利用者は今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」を利用することができる新しいサービスの総称のこと。

(*3) スマートデバイス：

スマートフォンやタブレット端末など、単なる計算処理だけではなく、あらゆる用途に使用可能な多機能端末のこと。

(*4) オープンデータ：

自治体などが保有する公共データが、市民や企業などの利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開されること、また、そのように公開されたデータのこと。

(*5) ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)：

登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで、代表的なものに、Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)などがあります。

担当： 総務部総務課 情報政策担当 鈴木
電話： 0771-25-5007 (内線 2318)

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

総務文教常任委員会

		意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
					参考	報告	調査
千歳	4	千歳町には亀岡市の公共施設が多くあるが、大半のところは駐車場がない。一定の台数が駐車できるように市として考えてもらいたい。民間の駐車場とタイアップして駐車場を貸してもらえないか。	昔から市として整備計画が至っていない部分があり、ご指摘のとおりである。大型スポーツ施設については駐車場を第一に考えているが、今後十分に配慮しながら建設をするように議会として見守っていききたい。民間の駐車場も利用できるような今後は議会としてもアドバイスをしながら要望していききたい。	総務文教 産業建設		○	
千歳	5	市をあげての祭り(花火大会や大踊り大会など)はいくつかあるが、町のにぎわいをつくり出すためにも、そういう催しをもう少し小さな単位でできないものか。市議会議員の皆さんに力になっていただき、取りまとめをしてもらい地域の中でつくりあげていくような祭りができないか。	—	総務文教 産業建設	○		
千歳	8	千歳町では土砂崩れが一番心配。真冬の深夜、祝日などに一時避難場所から広域避難場所への避難が必要となった場合、鍵の管理や暖房器具、照明、毛布など備蓄されていないという状況。川東学園の建設が間もなく完成となるが、体育館を防災拠点としていくための対策があまいのではないかと。また仮想避難場所の設定訓練も必要ではないかと考える。	地元の方しか分からない避難場所へのコースがあると思うので地元の皆さんと一緒に細かいところまで打ち合わせていくことが大事だと考える。鍵の管理も学校だけではなく、町民の方も対処できるような対策も提言していききたい。まずは生命を守ることを大前提に取り組んでいきたい。	総務文教	○		
千歳	9	国分寺の関係で史跡公園という形で買ってもらったが地元では草刈りをしているだけなので、有効活用できないか。	—	総務文教		○	
亀岡東部	8	亀岡会館などの公の施設がどうなっていくのか。身近に文化に触れる機会があることは大切である。	亀岡会館は耐震性の問題で使用できなくなった。他の老朽化した施設も含めて、検討委員会で費用面からも検討している。	総務文教	○		
亀岡東部	9	市発行の「市民生活の手引き」には市議会議員や警察、消防のことなど、身近なことが載っていない。	更新する際、考慮するようにしたい。	総務文教		○	
亀岡東部	10	スタジアムの件で、貯水ピットの排水方法、水道水源への影響、交通渋滞が心配である。説明会を開くよう、府に要望してもらえないか。	心配されている内容については、我々もずっと要望し、いろいろと議論してきたことである。各地域で開かれている地域こん談会で市から十分に説明をしていると考えている。市民に説明し、理解を得る努力をすることは大事である。	総務文教		○	
大井	2	大井町の抱える大きな課題は何であると認識しているか。それを克服するため議会は何をしようとしているのか。	課題としては、大井町南部土地区画整理事業や願成寺川、大飼川における河川改修、また、通学路等についても大切な事だと認識しており、議会としても協力していかなければならない。	総務文教 産業建設	○		
大井	4	大井町南部土地区画整理事業の用地に老朽化している文化資料館や厚生会館、亀岡会館などをもってこれないか。	文化資料館については、新資料館構想策定委員会で検討中である。それぞれ老朽化しているが、建て替えるのは財政的にも厳しいと考える。市としても検討している。	総務文教 産業建設		○	
大井	6	平成27年6月補正予算で体育施設管理運営経費(改修経費)が増額されたと聞いたが、医王谷野球場グラウンドの使用率はどれだけあるのか。	使用率については詳しくは分からないが、市内で野球をする場所が少なく利用は多いと思う。老朽化しており、市の単費ではなく、スポーツ振興くじ助成金を受けて整備するもの。	総務文教			○

大井	8	サッカーができる大型スポーツ施設が建設される予定だが、亀岡市では子どもたちにサッカー教育を実施していくのか。子どもたちを育てる環境づくりが大切だと思う。大井町がモデル地区になって始めてもよいと考える。	どの地域でもサッカーをはじめスポーツができる環境整備が大事だと考える。公園利用の環境整備を行政と一緒に取り組めればよいと考える。	総務文教	○		
大井	10	大きな雨が降ると南金岐の池が満水となる。その度に消防ポンプを使い水を汲み出している。京都府の事業だと思うが、なかなか現場を見に来てくれない。区民の安全・安心を守って欲しい。	気候変動によるゲリラ豪雨に対応していかなければならない。危険箇所は京都府に対策を依頼する部分と、本市において対応できる部分をそれぞれ実施しなければならない。常任委員会でも検討したい。	総務文教 産業建設		○	
宮前	2	2015年12月6日(日)に京都亀岡ハーフマラソンが開催される。コースになっている国道372号沿いの草刈りをする予定はあるのか。	京都亀岡ハーフマラソン大会実行委員会に清掃など環境整備について、どこまで検討しているのか確認したうえで要望していきたい。	総務文教	○		
宮前	4	少子高齢化社会の未来を見据え、市がどのような施策を行うのか大きな問題である。議会としてどう考えているのか。	個々の議員が一般質問や常任委員会などで質問や提言・提案をしているが、議会としての議論ができていないので、議論をしていきたい。	総務文教 環境厚生	○		
宮前	6	小学校の児童数が少ないため、保護者だけで学校の草刈りなどを行うには限界がある。子どもが学ぶ場を整備するため、地域やボランティアの力を借りたい。	草刈りなどの負担等、地域により格差がある。どうすれば管理しやすくなるのか、議会として議論を行い、執行部に提案・要望していきたい。	総務文教	○		
宮前	7	青野小学校裏門前にある横断歩道が薄くなり、運転手からわかりにくい。横断歩道が識別できるように改善してほしい。	非常に危険な状況である。所管委員会から執行部に対して即刻解決するよう要望していく。	総務文教		○	
宮前	8	大内から松熊を通過して青野小学校へ行く道について、通学時間の朝7時～9時まで速度制限を設けることはできないか。	執行部に警察と安全対策を講じるよう要望するとともに、議会としても議論をしていく。	総務文教 産業建設		○	
宮前	10	宮前町のまちづくりについて、アドバイスを聞かせてほしい。	フェイスブックなどを通して、地域の良さをアピールして知ってもらうことにより、様々な問題を助け合い、いい地域になると考える。また、町の取り組み例として、保津町で「大家族宣言」「保津百景道るべ」「若鮎フォーラム」などを地域全体で考え実施している。	総務文教 環境厚生 産業建設	○		
東別院	1	一般会計補正予算、体育施設管理経費の医王谷野球場グラウンド改修経費増について。グラウンドの利用状況とどこをどのように整備するのかを聞きたい。	詳細を把握できていない。	総務文教			○
吉川	3	「安全保障関連法案の審議にあたり慎重な取り扱いを求める意見書(案)」は否決であるが賛否が分かれている。賛成・反対の具体的な理由を説明願う。	法案を決定するのは政府である。市議会としては政府に対して、意見書を提出するかどうかの賛否について否決した。	総務文教	○		
吉川	4	少子高齢化の中、学校規模適正化が検討されている。子どもを増やす施策が必要と考えるが、小学校の統廃合について議会の考え方はどうか。	市は子ども達により良い教育環境を検討するため、学校規模適正化検討会議でアンケート調査を実施しており、今後、調査結果について議会で検討しようとしている現状である。	総務文教	○		
吉川	5	スタジアム建設について、京都府と亀岡市が莫大な費用で建設しようとしている。それだけの費用をかけて、市が活性化するのか。またアユモドキを守れるのか。財政が厳しい中で維持管理経費等をどうするのか。	スタジアムについては、議会でも賛否がある。スタジアムの運営管理は京都府が行うが、亀岡市はアクセス道路等の整備を行う。アユモドキについては、サンクチュアリを設け保全する計画である。	総務文教	○		

吉川	6	現在、亀岡市を相手に亀岡駅付近の浸水エリア延べ400人がスタジアムと区画整理事業の認可取消について行政訴訟を行っている。訴訟の内容は承知しているのか。また、訴訟結果によっては、土地取得してもスタジアムが出来ない場合もある。代替案等を想定するなどの議論はあるのか。	行政訴訟の内容は承知している。亀岡市が敗訴する前提では議論をしていない。賛成多数で可決した以上、議会としての責任を踏まえて今後進めていく。もし敗訴した場合は、その時点で議論を行う。	総務文教	○		
吉川	7	訴訟内容は浸水問題だけでなく、地盤改良により井戸水から六価クロム等の発がん性物質が飲料水に含まれるなどの公害になる恐れがあることも争点の1つである。その様な場合、亀岡市にとってマイナスイメージになるのではないかと。また、スタジアムを防災備蓄庫として活用する計画だが、1階エリアに備蓄庫ができないのは浸水を想定してだと考える。議会で議論している内容より心配材料が多い。議会で、京都府から議会や市民に対する説明会が行われるよう検討願う。	訴訟問題の内容について返答できないが、水の問題に関しては、上下水道部も慎重に検討している。	総務文教	○		
吉川	8	吉川小学校の児童数減少について、小学校を移転したのは吉川小学校だけである。なぜ移転したのかを良く理解したうえで、学校適正化検討委員会で議論して欲しい。	経過を踏まえたうえで、それぞれの地域の実情に合わせ、色々な制度を調査しながら検討していきたい。	総務文教		○	
吉川	9	亀岡市独自の子育て支援施策があれば教えて欲しい。	検討しているのは、小学校教室へのクーラー設置や放課後児童会の対象学年拡大である。	総務文教			○
			大きな施策はこども医療費助成である。その他については、調べて回答する。	環境厚生	/	/	/